

国有林モニター会議を開催
企画調整室

関東森林管理局では、国有林の管理経営に国民の皆様の声を反映させていくため、国有林モニター制度を設けています。

平成24・25年度国有林モニターは現在、69名の方に依頼し、毎月国有林に関する資料の送付や意見・提言を伺っているところです。

この一環として、去る9月6日、群馬県渋川市、利根郡みなかみ町において、国有林モニター会議を開催しました。



渋川県産材センター概要説明

当日は、各都県より、15名の国有林モニターの方々に参加いただき、製材工場及び森林整備作業箇所を視察、意見交換会を行いました。

○渋川県産材センター（群馬県渋川市）視察

まず始めに、森林組合や素材生産業者等から、選別されていない丸太を一括して買い取り、柱や集成材への一次加工と製紙用チップ等の製造を行う「渋川県産材センター」を視察していただきました。



渋川県産材センター視察

国有林モニターが多くの方がこのような工場を見るのが初めてとあって、熱心に説明に聞き入っておられ、

丸太が加工されていく過程について、理解を深めていただけたのではと思います。

○森林整備作業箇所（利根沼田森林管理署管内）視察

午後からは、森林整備作業の現場として、高性能林業機械を用いて列状間伐を実施している国有林を視察し、間伐を実施する必要性や低コスト高効率の作業システムを構築する必要性について説明を行いました。

国有林モニターの皆さんは、間伐作業や高性能林業機械に非常に関心を持たれた様子で、林業の現状をご理解していただけたのだと思います。



国有林間伐箇所の視察

○意見交換会

意見交換会では、関東森林管理局の重点取組事項や利根沼田森林管理署の概要を説明した後、国有林モニターの皆さんと意見交換を行いました。

国有林モニターの皆さんからは、国有林野事業や広報誌等の情報発信のあり方、森林資源のアピール方法、ボランティアとの連携、森林環境教育など様々な質問・提言が行われ、有意義な時間となりました。



意見交換会